

さくねん 昨年、にしやま 西山のぶまさは、アンケートをしました。アンケートの内容は、

「ぼうさい防災」や「しょう障がいのある人へのじょうほう情報のつた伝え方」についてです。

アンケートの結果の一部をお知らせします。

アンケートに答えていただいた皆さんありがとうございました。詳しい内容は、にしやま 西山のぶまさのホームページを見てください。

## ぼうさい 防災について

アンケートでは、ぼうさいくんれん防災訓練にどれくらい参加しているか聞きました。42.4%の人が「ほとんど参加したことがない（参加したことがない）」と答えました。また、台風のときなどに出される避難情報の呼び方が変わったことを知っているか聞きました。「知っている」と答えた人は29.6%でした。防災訓練に参加している人や避難情報のことを知っている人が少ないことがわかりました。もしも災害がおきたらと思うと、少し不安な結果です。これから、一人でも多い人が防災について意識をもってもらえるように取り組みたいと思います。

昨年10月に台風21号がきました。この台風の時、下京区ではじめて避難情報がでました。避難情報がでたのは、七条学区、七条第三学区、西大路学区です。台風のあと、避難情報がでたときにどうしたらよいかわからないという相談がありました。西山のぶまさは、防災の講演会を開き、避難情報がでた時にどうしたらよいかなどの話をしました。



11 住み続けられる  
まちづくりを



## しょうがいのある人への情報の伝え方について

アンケートでは、障害者差別解消法という法律の内容を知っているか聞きました。32%の人が法律の内容を「知っていた」と答えました。また、この下京まっすぐジャーナル第7号の表面のような「わかりやすい版」を市が作るとしたらどう思うか聞きました。85.6%の人が「ぜひ進めるべき（どちらかといえば進めるべき）」と答えました。西山のぶまさは、会議で「わかりやすい版」をつくってほしいと京都市に何回もお願いしました。すると、京都市の障害のある人のための計画（はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン）を書いた冊子に「わかりやすい版」が作られることになりました。また、市役所で働く人が誰にもわかりやすい情報の伝え方ができるように手引きも作られることになりました。



## みんぱくたいさく じゅうじつ 民泊対策の充実を

しもぎょうく 下京区では、みんぱく「民泊」とよばれるりょこうしゃ旅行者が泊まる場所が増えています。「民泊」は、いえ家のちか近くにもできるので、しんぱい心配する人がたくさんいます。にしやま西山のぶまさもたくさんそうだん相談を聞きました。

にしやま西山のぶまさは、かいぎ会議で、しみん市民があんしん安心して暮らせるようなルールをつくってほしいとねがいました。また、いえ家のちか近くにみんぱく民泊ができてなや悩むちょうないかい町内会の人をきょうとし京都市がたす助けしてほしいとねがいました。

その結果、けっか京都市は、2つのあたらしい新しいことをはじめるよてい予定になりました。1つめは、ちょうない町内会がどうしたらよいかおし教えてくれるせんもんか専門家がちょうない町内まで来てくれるようになります。2つめは、ちょうないかい町内会がどうしたらよいかをかきいたさっし書いた冊子がつくられることになりました。

11 住み続けられる  
まちづくりを



# まっすぐ! 未来へ。 西山のぶまさからのメッセージ

「SDGs」(エス・ディー・ジーズ)という言葉を新聞などでよく見るようになりました。SDGsの取り組みを進める企業も増えています。

SDGsはだれ一人取り残さずにみんなのことを考えて行動するという考え方を大切にしています。これは、人間をもっと大切にするという公明党の考え方と同じです。だから、私たち公明党も全力でSDGsを進めようとしています。

私は、生まれたときから右手に障がいがあります。学生時代は、友人と平和・人権・環境などをテーマに展示会を開いたこともあります。

府内の市の職員として働いていたときには、市の「非核平和都市宣言」をつくる仕事もしました。また、障がい者福祉も長く担当しました。住んでいた町で消防団員もやりました。これらは、特別なものではありませんが、実はSDGsと関わりのあるものばかりです。「自分はSDGsと関わりの深い生き方をしてきたんだなあ」と思います。そういったことから、SDGsを一生懸命進めようと考えています。

とくにだれにもわかりやすい情報提供が進むように取り組みたいと思います。これは、SDGsの10番目「人や国の不平等をなくそう」に関わります。私にとって最も進めたいSDGs、いわば「マイSDGs」です。

私は、未来の子どもたちにこの素晴らしい京都を残したいと思います。そのためにも、SDGsの目標を何としても達成しなければなりません。しかし、その努力は、日常生活から離れた何か特別なことではないと思います。一人一人が身近なことで「自分はこれに挑戦しよう」という「マイSDGs」を決めて、取り組むことから始まると思います。

市議員には、先頭にたってSDGsを進める役割があると思います。西山のぶまさの市議員の期間もあと1年ほどとなりました。残りの期間、全力で頑張ります。

下京まっすぐジャーナル第7号は、印刷版のほかに、点字版、裏面のわかりやすい版もつくっています。それらをつかいたいと思う人は、西山のぶまさ事務所までご連絡ください。

※点字版の数は、少しです。

※裏面のわかりやすい版は、西山のぶまさのホームページにものせています。

▶西山のぶまさホームページ <http://www.nishiyama-massugu.net/>



にしやま

西山のぶまさ

けんさく

検索

ちいき

地域チカラ